

- 問1 参議院議員選挙の実施方法について述べた記述として、正しいものはどれか。なお、参議院議員は任期が6年であり、3年ごとに定数の半数が改選される。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|--|
| 1. 小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が採用されている。 | 2. 比例代表制においては、全国を11のブロックに分けてそれぞれの地域ごとに議席の配分が行われる。 | 3. 比例代表制においては、全国を一つの単位として議席の配分が行われる。 | 4. すべての議席について、都道府県を単位とした選挙区制によって選出される。 |
|---|---|--------------------------------------|--|
- 問2 ある選挙区において、比例代表制のドント式を用いて7つの議席を決定します。3つの政党の得票数が、D党：1260票、E党：720票、F党：600票であった場合、各政党への議席配分として正しい組み合わせを選びなさい。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1. D党：3議席、E党：2議席、F党：2議席 | 2. D党：3議席、E党：3議席、F党：1議席 | 3. D党：5議席、E党：1議席、F党：1議席 | 4. D党：4議席、E党：2議席、F党：1議席 |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
- 問3 日本の衆議院議員選挙などの比例代表制で採用されているドント式において、各政党の獲得議席を決定するための計算手順として正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 各政党の総得票数を、まず全政党の合計得票数で割り、その割合に定数を掛けて小数点以下を切り捨てる。 | 2. 各政党の総得票数を、1、2、3、4…という整数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 | 3. 各政党の総得票数を、有権者数で割り、その比率が一定基準を超えた政党にのみ均等に議席を割り当てる。 | 4. 各政党の総得票数を、1、3、5、7…という奇数で順に割り、その商（割り算の答え）が大きい順に議席を割り当てる。 |
|---|--|---|--|
- 問4 かつての日本において、選挙権を得るためには「直接国税15円以上を納める25歳以上の男子」といった一定の納税額が必要とされる制限選挙が行われていました。このような財産による制限を撤廃し、普通選挙を導入した歴史的な背景や目的として最も適切なものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|------------------------------------|--|
| 1. 国民の幅広い意見を政治に反映させ、議会政治の民主主義的な基盤を強化するため | 2. 選挙管理の事務において、納税額を確認する手間を省きコストを削減するため | 3. 政党政治を廃止し、少数の特権階級だけで迅速な意思決定を行うため | 4. 納税を拒否する国民が増えたため、選挙権を報酬として与えて納税を促すため |
|--|--|------------------------------------|--|
- 問5 日本の選挙制度において、国民が公職に就くために立候補できる権利を「被選挙権」といいます。このうち、参議院議員の被選挙権を得るために必要な年齢要件として正しいものはどれか、選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 満35歳以上 | 2. 満18歳以上 | 3. 満25歳以上 | 4. 満30歳以上 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
- 問6 日本国民が衆議院議員の選挙に立候補し、選ばれることができる権利を「被選挙権」といいます。現在の日本の制度において、衆議院議員の被選挙権を得るために必要な年齢の条件として正しいものを次の中から選んでください。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 1. 十八歳以上であること | 2. 二十五歳以上であること | 3. 二十歳以上であること | 4. 三十歳以上であること |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
- 問7 2017年の衆議院議員総選挙において、20代の投票率は約30%と全年代の中で最も低い数値でした。また、日本の年代別人口の構成を見ると、若年層は中高年層に比べて著しく少ない状況にあります。このような「投票率」と「年代別人口」の差が、民主主義における政策決定にどのような影響を及ぼすと考えられますか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 若年層の人口が少ないため、一人ひとりが持つ一票の価値が法的に高く補正され、若者の意見が通りやすくなる。 | 2. 若年層の投票率が低いため、各政党は若者の関心を引こうと、若者向けの支援政策を最優先で公約に掲げるようになる。 | 3. 有権者数や投票数が多い高齢者の意見が重視されやすくなり、若年層の意見が政治的反映を受けにくくなる。 | 4. 男女別の投票率に大きな差がないため、年代を問わずすべての世代の意見が均等に予算配分へ反映される。 |
|--|---|--|---|
- 問8 比例代表制において、ドント式のような複雑な計算を用いて議席を配分する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 死票を減らし、各政党の得票率と議席率をできるだけ一致させるため | 2. 得票数の少ない政党を排除し、議会での合意形成をスムーズにするため | 3. 二大政党制を促進し、政権運営の安定性を高めるため | 4. 特定の候補者個人の人気を、直接的に当選へ結びつけるため |
|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|
- 問9 日本の参議院議員通常選挙における年齢別の投票率を調査した統計において、60歳代や70歳代の投票率が60%から70%台の高い水準を維持しているのに対し、20歳代は30%台、30歳代は40%台と低い水準にとどまっています。このような、若年層の投票率が高齢層に比べて著しく低い状況が政治に与える影響として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 全ての世代の意見が均等に政治に反映される結果、世代間の公平な負担と給付が実現しやすくなる。 | 2. 有権者の数が多い高齢層の投票率が高いため、社会保障制度など高齢層に向けた政策が重視されやすくなる。 | 3. 若年層の人口が多いため、投票率が低くても若者の意見が優先的に予算配分に反映されるようになる。 | 4. 若年層の投票率が低いため、選挙結果における各政党の得票数に男女間の大きな格差が生じる原因となる。 |
|--|--|---|---|
- 問10 民主政治における選挙の原則のうち、財産や性別などにかかわらず、すべての有権者が公平に一人一票の投票権をもつという原則を何といいますか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 普通選挙 | 2. 直接選挙 | 3. 平等選挙 | 4. 秘密選挙 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 日本の選挙制度において、東京や神奈川、埼玉、千葉といった都市部で議員の定数が増加する一方で、宮城や福島、新潟、滋賀といった県で定数が減少する是正措置が行われることがあります。このように、選挙区ごとの有権者数の違いによって、国民が投じる1票が持つ「政治への影響力」に差が生じてしまっている状態を何と呼びますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|----------|----------|
| 1. 連座制の適用 | 2. 比例代表制の矛盾 | 3. 死票の発生 | 4. 一票の格差 |
|-----------|-------------|----------|----------|
- 問12 ある選挙制度に関する説明において、一つの選挙区から選出される議員の定数を「1名」とした場合、その制度の名称と、制度運用上の課題（デメリット）の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 制度名は比例代表制であり、特定の候補者の人気に左右されやすく、政党政治が崩壊する課題がある。 | 2. 制度名は小選挙区制であり、極端に多くの政党が乱立してしまい、政権交代が起こらなくなる課題がある。 | 3. 制度名は小選挙区制であり、落選者に投じられた票が議席に結びつかない「死票」が多くなる課題がある。 | 4. 制度名は比例代表制であり、議席の配分計算が複雑になり、開票に時間がかかる課題がある。 |
|---|---|---|---|